

JACC 比較文化会報

本部事務局：〒574-8530 大阪府大東市中垣内3丁目1-1
大阪産業大学国際学部 藤岡克則研究室内
会長室：〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1 高知大学人文学部
奥村訓代研究室内
学会HP：<http://www.hikakubunka.jp/>

第39回全国大会・2017年度国際学術大会のご案内

日本比較文化学会中部支部長および大会実行委員長
澤田 敬人（静岡県立大学）

2017年5月20日（土）に静岡市の静岡県立大学で大会を開催いたします。会場の静岡県立大学は、ミュージアムの語源であるムセイオンという美術館、図書館、埋蔵文化研究所などの文化施設が融合したエリアの一部を成しています。静岡県立大学の総レンガの校舎と富士山と青空が合わさると、とても清々しい光景になると評判です。静岡県富士市の観測記録によりますと、2016年5月の午前8時に富士山の「全体が見えた日数」は15日でした。「一部が見えた日数」と合わせると21日になります。大会を開催する5月に静岡で富士山が見える確率は約68%です。

もし富士山が見えなくても静岡は今川家や徳川家ゆかりの街として風情があります。家康が今川家の人質だった頃出入りしていた臨濟寺をはじめ、徳川忠長事件以後は江戸幕府直轄であった天領の城としての駿府城、江戸城無血開城に向けた山岡鉄舟と西郷隆盛による会談の場、最後の将軍徳川慶喜の屋敷であった浮月楼、若かりし頃の外山正文大臣や『西国立志編』（サミュエル・スマイルズの『自助論』）の中村正直が教師を務めた徳川藩の静岡学問所の跡地などがあります。また、静岡浅間神社には世阿弥の『風姿花伝』で述べられているように父親の観阿弥が最後に能を演じたとされる場所に、観世清和氏が建てた顕彰の碑があります。

会員の皆様におかれましては静岡で心地よくご発表いただき、ご歓談のひとときを満喫していただきたくお願い申し上げます。皆様のお越しをお待ち申し上げます。

《日本比較文化学会第39回大会・2017年度国際学術大会 日程》

日本比較文化学会中部支部長および大会実行委員長
澤田 敬人

*日程

日時：2017年5月20日（土）

会場：静岡県立大学 大講堂、小講堂、国際関係学部棟の各教室

スケジュール：

8:45～ 9:40 理事会 【小講堂】

9:15 受付開始 【大講堂】

9:45～10:15 総会 【大講堂】

10:20～12:10 シンポジウム「比較文化の今日的意義」【大講堂】

12:10～13:15 休憩（昼食）※学内の食堂が営業中です。

13:15～16:50 研究発表 【国際関係学部棟】

17:00～18:00 特別講演 「今川義元の漫画で地域おこし（仮）」

鈴木 将仁先生（静岡漫画研究所代表理事・今川さん製作委員会委員長）【大堂】

18:00～20:00 懇親会 【学生ホール】

《支部報告》

東北支部

*【報告】東北支部研究発表会および総会

日時：2017年3月10日（金）

場所：弘前学院大学

プログラム

1. 研究発表

(1) 横地 徳広（弘前大学）「ハイデガーと分析美学—恐怖について—」

2. 総会

(1) 会計報告

(2) 監査報告

(3) 役員改選

今後の支部運営に関して、研究会の回数を増やすなど、活性化を進めていくべきとの提案がなされ了承された。また、役員については、2018年3月まで現在の体制で運営し、次の支部長にバトンタッチするのが妥当とされた。研究会終了後、懇親会が開催された。

支部長 佐藤 和博

関東支部

*【報告】関東支部例会

日時：2017年3月11日（土）13:00～17:00

場所：東京未来大学 会議室2

プログラム

1. 例会開会の挨拶 関東支部長 近藤 俊明（東京未来大学）

2. 研究発表

司会 関東支部事務局長 郭 潔蓉（東京未来大学）

- (1) 野口 周一 (足利工業大学) 「日本人の台湾経験をめぐり一考察 (その2)」
 - (2) 野田 晃生 (筑波大学大学院) 「パール・バック論」
 - (3) 中澤 和夫 (聖学院大学大学院) 「E. H. カークの『危機の20年』に見るユートピアニズムとリアリズム」
 - (4) 長田 元 (宇都宮大学大学院) 「地域間交流と港湾政策の関係に関する研究—北陸地方の港湾を中心に—」
 - (5) 高橋 強 (東海大学) 「小学校における英語プレゼンテーションの役割」
3. 例会閉会の挨拶 関東支部 副支部長 高橋 強 (東海大学)
- * 【報告】2016年度関東支部総会 (上記例会終了後)
1. 総会開会の辞: 議長 近藤 俊明 (東京未来大学)
 2. 2016年度会計報告: 関東支部事務局長 郭 潔蓉 (東京未来大学)
 3. 2017年度人事案・活動計画: 関東支部長 近藤 俊明 (東京未来大学)
 4. 総会閉会の辞: 関東支部事務局長 郭 潔蓉 (東京未来大学)

支部長 近藤 俊明

中部支部

* 【お知らせ】平成28年度中部支部例会・総会

日時: 2017年3月25日 (土) 13:00~

場所: 椋山女学園大学星が丘キャンパス

実行委員長: 樋口 謙一郎 (椋山女学園大学)

内容: 中部支部恒例の勉強会形式による企画を準備しております。木田悟史氏 (三重大学) によるハーン研究を材料にして聴衆と共に勉強します。勉強会は約1時間半です。さらに自由研究発表を予定しています。

支部長 澤田 敬人

関西支部

* 【報告】関西・関東・中部支部合同および関西・中国四国・九州支部合同

12月例会

日時: 2016年12月3日 (土) 12:10~18:00

場所: 同志社大学今出川キャンパス 良心館3階 (RY301・RY302・RY303 教室)

プログラム

1. 日本比較文化学会関西支部総会
2. 開会の言葉
3. 研究発表
(RY301 教室・研究発表)
- (1) 大崎 洋 (愛知学泉大学) 「地域社会と宗教との関わり—名古屋市北部楠地区の事例から—」
- (2) 朴 香花 (名古屋大学大学院) 「日本観光による対日態度変容プロセスに関する研究: 中国人の『日本旅行記ブログ』を中心に」
- (3) 和田 薫子 (お茶の水女子大学大学院) 「カナダ在住日本人女性就労者のキャリア形成意識に就労における葛藤と属性が及ぼす影響」
- (4) 成田 小百合 (新島学園短期大学) 「保育者になりたいことと自己効力感」
- (5) 篠原 華子 (筑波大学大学院) 「柳宗悦と美術館」

- (6) 加藤 めぐみ(都留文科大学)「橋小夢『水魔』の謎に迫る—日本文化とヨーロッパ世紀末芸術のはざままで—」
- (7) 川内 有子(立命館大学大学院)「井上十吉の英訳『仮名手本忠臣蔵』の初版と第二版の比較—「武士道」の近代的解釈の普及と関連して—」
- (8) 栗山 緑(福岡大学)「日本人の衛生観と『あし』」
- (9) 趙 一嶸(九州大学大学院)「コミュニケーションにおける参加者の『演劇づくり活動』への合意形成—福岡市における演劇指導者の育成事例を通して—」

(RY302 教室・研究発表)

- (1) キャンディー(同志社大学大学院)「断り表現における意味公式の出現順序についての—考察—
—日本・インドネシア・韓国・ベトナム・フィリピン・中国の比較—」
- (2) 荒井 美幸(同志社大学)「中米・カリブ日本語教育ネットワークの現状と展望」
- (3) 中村 友紀(関東学院大学)「近代初期イングランド復讐劇にみる個人像の近代初期性」
- (4) 望月 肇(大阪産業大学)・橋尾 晋平(同志社大学大学院)・金崎 茂樹(大阪産業大学)・Neil Heffernan(久留米大学)・山内 信幸(同志社大学)・藤岡 克則(大阪産業大学)「シンプル・ディベートとTOKOPOLISの比較から考察する初年次英語教育の実践研究」
- (5) 天野 裕子(九州大学大学院)「ベトナム人日本語学習者の漢語学習への意識と学習戦略—」
- (6) 梶原 雄(同志社大学)「上級日本語学習者の漢字書きの誤用について—中国人学習者を対象に—」
- (7) 木田 悟史(三重大学)「『赤い鳥』のラフカディオ・ハーン—茅原順三(森三郎)『赤穴宗右衛門兄弟』を通して—」
- (8) 高橋 強(東海大学)「小、中、高、大連携についての—考察:英語教育の観点から—」

4. 講演

中川 久公先生(京都恵美須神社宮司・同志社大学嘱託講師)「年末年始、京の歳時記」

*【報告】2016年度3月例会

日時:2017年3月18日 14:00~16:45

場所:同志社大学今出川キャンパス 弘風館 K22 教室

プログラム

1. 研究発表

- (1) 道合 裕基(京都大学大学院)「日影丈吉『猫の泉』における〈異界〉表象とその材料について」
- (2) 川内 有子(立命館大学大学院)「A. B. Mitfordによる四十七士の紹介—トラベル・ライティングから文化研究への移行—」
- (3) 高橋 尚美(大阪国際大学)「茶道における『第二の見立て』:『言語コミュニケーション』と『非言語コミュニケーション』の視点から」

2. 講演

中瀬 航也先生(シェリー酒専門家、欧州嗜好文化研究家)「シェリー酒を生んだスペインとイングランド」

支部長 山内 信幸

中国四国支部

*【報告】中国四国支部3月例会

日時：2017年3月16日（木）16:00

場所：香川大学教育学部 8号館第二演習室

プログラム

1. 講演

鈴井 宣行先生（創価大学ワールドランゲージセンター教授）「アフリカの『サービス』について」

2. 研究発表

(1) 轟木 靖子（香川大学）・高橋 志野（愛媛大学）・山下 直子（香川大学）「地域社会で支える外国人住民の防災」

(2) 閻 慧（広島大学大学院）「大学生向け基礎日本語総合教科書に関する比較研究—音声練習問題を中心に—」

3. 日本比較文化学会 中国四国支部会計報告

* 【お知らせ】

中・四国支部では、8月締め切りの研究論文のご投稿を7月から受け付けます。（投稿規程は、学会誌の『比較文化研究』に詳しく記載されております）

支部長 山下 明昭

九州支部

* 【報告】九州支部大会

日時：2017年3月4日（土）13:00～17:00

場所：九州情報大学

プログラム

1. 研究発表

(1) 高瀬 博（福岡県立須恵高等学校）「これから求められる『英語表現指導法』」

(2) 長野 綾子（博多清松高等学校）「英語学習者の動機づけを高める指導実践：モチベーションストラテジーの活用」

(3) 八尋 春海（西南女学院大学）「地域活性化のための大学生による旅行商品企画」

(4) 山口 裕美（津山工業高等専門学校）「『チャイルド・ハロルドの巡礼』を読む—編集によって変化する読書のあり方をめぐって—」

(5) 深津 勇仁（福岡女子大学）「ジョン・フォード西部劇における善悪二元論表象の一考察—『リバティ・バランス射った男』を中心に—」

(6) 佐藤 慶治（九州大学大学院）「NHK 音楽番組『みんなのうた』と『翻訳歌』」

(7) 林 裕二（西南女学院大学）「村上春樹『ノルウェイの森』の英訳の呼称について」

(8) 樋口 真己（西南女学院大学）「大学開放の変遷についての考察—地域社会との関わりから—」

(9) 奥村 訓代（高知大学）「防災士の為の『やさしい日本語』について」

(10) 岩松 文代（北九州市立大学）「台湾のたけのこにみる種の多様性と食文化の多様性」

(11) 呉 暁良（九州大学大学院）「在日中国人留学生のソーシャル・ネットワーク構築の阻害要因—九州大学の事例を通して—」

(12) 崔 秀蓮（西南学院大学）「韓国の『恨』と日本の『侘・寂』『粹』の比較研究」

(13) 張 暁蘭（九州大学大学院）「留学生の家族のための日本語教室活動—支援者による日本語学習支援に着目して—」

- (14) 藤山 和久 (熊本高等専門学校) 「ジョウゼフ・コンラッドの『青春』における異文化表象」
- (15) 山田 健太郎 (長崎県立大学) 「観光と関連づけた英語学習の事例研究 (グラバー園紹介のホームページ作成)」
- (16) 篠原 征子 (西南女学院大学) 「ブライダルの日中比較研究」
- (19) 野口 周一 (足利工業大学) 「日本人の台湾経験をめぐる一考察 (その1)」
- (20) 杉村 佳彦 (宮崎大学) 「浦島太郎の変遷とその時代的解釈—中国文化起源の神仙思想、民話から御伽草子、教科書児童文学そして昔話の現代日本文化へ—」

支部長 八尋 春海

《事務局からのお知らせ》

事務局長 藤岡 克則

○会費納入のお願い いつも会費納入にご協力いただき誠に有難うございます。従来より、一般会員は2年、学生会員は1年を超えて未納の場合には、会員資格を失うこと(除籍)になっております。ご注意ください。 会費に関するご質問等ございましたら、学会ウェブサイト (<http://hikakubunka.jp>) の「お問い合わせ」ページより事務局会計担当までお問い合わせ下さい。会費納入の郵便振替口座番号は以下の通りです。詳しい情報は上記ウェブサイトをご覧ください。

<本部会費 振込情報> ゆうちょ銀行振替口座

口座番号: 02570-6-8921 加入者名: 日本比較文化学会

他金融機関からの振込用口座番号: 二五九 (ニゴキユウ) 店 (259) 当座 0008921

<年会費> *一般会員: 5,000 円 (大学院生を含む) *学生会員: 3,000 円 (学部生)

*賛助会員: 一口 10,000 円 (1 口以上)

注意点:

- 1) 振り込みの際には、所属支部と何年度分の会費であるかを明記してください。
- 2) 最近、本部会費と支部会費の混同並びに誤送金が増えております。 以下の点お間違いのないよう再度ご確認ください。
 - ①「本部会費」と「支部会費」の振込先および金額は異なります。本部では、本部会費のみ受け付けます。②「支部会費」に関しましては、各支部にお問い合わせください。
- 3) 論文投稿をご希望の場合、年会費納入済が条件となっております。 論文投稿希望者の年会費納入確認は、各担当支部 (締切月: 3 月末・6 月末・8 月末・10 月末・12 月末) 編集委員長が行っております。論文投稿される際の年会費納入確認は、論文提出担当支部長にご連絡いただきますようお願い致します。

○会員情報更新のお願い 住所不明により学会誌や会報をお届けできない会員の方がいらっしゃいます。就職・転勤等によるお引越の際には、お忘れなく会員調査書 (学会ウェブサイトよりダウンロードできます) に新情報をご記入の上、下記アドレスまでお送りください。

<日本比較文化学会ウェブサイト入会・会員情報変更> http://hikakubunka.jp/?page_id=97

<入会申込書・会員調査書送付先> あゆみコーポレーション (業務委託先)

メールアドレス: hikakubunka@a-youme.jp